

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	言語科目(英語Ⅰ)
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英文翻訳力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅰ）試験問題

2025 年 2 月 16 日（日）

9 : 30～12 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語 I ー①）

問 次の文章を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Holy, L. 1996. *Anthropological Perspectives on Kinship*, p.67.

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語Ⅰ－②）

問 次の文章を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Clifford, J. Returns: "Becoming Indigenous in the Twenty-First
Century", 2023, Harvard University Press

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語Ⅱ）
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英文読解力と英文作成力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅱ）試験問題

2025 年 2 月 16 日（日）

9 : 30～12 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語Ⅱ－①）

問 以下の英文は、東京都小平市を対象とする民族誌から抜粋したものである。筆者はどのような意図から「

」（下線部）と述べているのか、本文全体の内容を踏まえたうえで、日本語で説明しなさい。字数制限は特に設けない。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Robertson, Jennifer 1991 *Native and Newcomer: Making and Remaking a Japanese City*. University of California Press. pp. 3-4.

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（英語Ⅱ－②）

問 次の文章を英訳しなさい。

現代の人類学にあつて、自らが研究の対象としている人々を、明確な境界を伴った均質的な実体として捉えている人類学者はまずはいないであろう。確かに、そうした実体を研究遂行上の前提としないことは、認識論的には非常に妥当なことのよう
に思える。他方で、このことは特定の言葉の使用を困難なものにもした。最も典型的な例としては、「集団」と「共同体」が挙げられる。エスニック集団や村落共同体の存在を自明なものとして表象すると、本質主義者のレッテルを貼られ、辛辣な批判にさらされることもある。そこで、多くの局面で使える代替概念として重宝されてきたのが、「共同性（コモナリティ）」である。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	研究を進めるために必要な社会（文化）人類学とその関連分野における基礎知識と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

基礎知識 試験問題

2025 年 2 月 16 日（日）

13 : 30～15 : 30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

2025 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（基礎知識）

問 以下のすべての設問に答えなさい。

1 グローバル化が地域社会に及ぼす影響をテーマに、フィールドワークにもとづく研究をするとしたら、どのような調査研究計画を立てますか。具体的な研究対象を仮に設定したうえで、研究の目的、視点、方法等がわかるように、調査研究計画の骨子を説明しなさい。字数は800字程度とします。なお、あなた自身の大学院入学後の調査研究計画に結びつける必要はありません。

2 「ノンヒューマンのエージェンシー」という考え方について、知るところを述べなさい。

3 父系社会における母方オジの役割について、社会人類学においてどのように議論されてきたか。知るところを述べなさい。

4 文化を色眼鏡に例えることの意味について、考えるところを述べなさい。

5 文化伝播論について、知るところを述べなさい。理論・方法論の概要だけでなく、その批判や可能性についても触れること。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	論文
出題の意図	研究を進めるために必要な基礎学力と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

論文 試験問題

2025 年 2 月 17 日（月）

10 : 00～12 : 00

※答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。

※解答用紙の裏面は使用しないこと。

二〇二五年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室 博士前期課程（一般学生）
入学試験問題（論文）

問 以下の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務系の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問1 ここで言及されてる「スケーラビリティ」と「ノンスケーラビリティ」
の違いについて述べなさい。字数は自由とする。

問2 傍線①についてなぜこのように主張しているのか、本文中の具体例を
用いながら説明しなさい。字数は自由とする。

出典：アナ・チン ニ〇一九年『マツタケ』（赤嶺淳訳）みずず書房